

地域とともにある学校づくり推進フォーラム(鳥取会場)

# 地域学校委員会の取組



倉吉市教育委員会教育長 福井伸一郎

## 倉吉市児童・生徒数

		平成28年度（平成27年度）	
市立小学校	13校	児童数	2,532人（2,561人）
市立中学校	5校	生徒数	1,184人（1,234人）

## 倉吉は何をめざすか

家庭・地域・学校が一体となった教育の推進

行きたい学校  
帰りたい家庭  
住みたい地域

倉吉市教育振興基本計画<sub>2</sub>



# 倉吉市教育振興基本計画(第二期)全体図

## 教育理念 豊かな心を持ち、個性を發揮する人づくり

～行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域～

**教育目標** ・幅広い知識、豊かな心、健やかな体を養う。 ・個性を尊重し、創造性を思い、自律性・自主性を養う。  
 ・社会の一員として、参画し寄与する態度を養う。 ・自然を大切にし、伝統と文化を尊重する態度を養う。  
 ・郷土を愛し、他人や他地域を尊重する態度を養う。

### 幼児教育

#### 幼児教育の充実

いきいきとした心身ともに健やかな子どもの育成をめざし、保育所・認定こども園と小学校の連携を充実させ、基本的な生活習慣の定着や規範意識の育成及び他者との関わり等について幼児期の教育の充実を図ります。  
 また、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、教職員や子ども同士の交流により、教育・保育内容の相互理解及び指導の在り方について研究を行い、支援体制を充実します。  
 ・**「幼幼連携カリキュラム」の作成・活用**  
 ・**「くらし子育て応援ぶっく」の活用**



### 家庭教育

#### 家庭教育の充実

家庭教育の重要性を保護者が自覚し、家庭での基本的な生活習慣や学習習慣の確立等について取り組めるようにしていくとともに、相談体制の整備など保護者が子育てしやすい体制づくりを推進していきます。  
 ・**「親子PTA 講演会」の開催** ・**「くらし子育て応援ぶっく」の活用**  
 ・**「倉吉の子育て10か条」の発行** 推進

#### 教育委員会の機能強化

市長との「総合教育会議」を充実するとともに、学校・地区公民館間等 教育委員会の活性化を図ります。

### 学校教育

#### ～行きたい学校～

#### 学力向上の推進

特色ある中学校区教育(小・中連携)の推進を図りながら、基礎的な知識及び技能を習得させ、それらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力を養うとともに主体的に学習に取り組む態度を養います。また、そのための教職員の資質、指導力の向上、様々な指導を行う体制づくりに努めます。  
 ・**小学校英語科の充実、中学校ALTの増員、ICT活用**

#### 豊かな心の育成

読書活動や体験活動を積極的に推進するとともに、道徳教育や人権教育の充実を図り豊かな心を育成し、いじめや不登校・問題行動の未然防止と早期対応に努めます。  
 ・**「ハイパーOU」の活用、体験活動の充実、権威特約の充実**

#### たくましい体の育成

運動や健康・安全についての理解を深め、健康の保持増進のための実践力と体力の向上を図ります。  
 ・**学校内外での外遊び、運動体育等の推進**

#### 特別支援教育の充実

児童生徒一人一人の教育的ニーズや個性の種別や状況に応じた創意ある教育課程の編成と指導方法の工夫改善を行い、個々の発達と自立に向けた教育活動と生活における一貫した支援の充実に努めます。  
 ・**倉吉市個別の支援計画・指導計画の作成・活用**

#### 給食の充実、食育の推進

豊かな心と体、望ましい食習慣等を育むため、給食の充実や食育推進を図ります。  
 ・**親子で学ぶ食育の推進**  
 ・**夜間アレルギー対応研修会**

#### 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

子どもたちが倉吉の自然や歴史、文化などに誇りと愛着が持てるよう、地域の特色を生かし、人材や自然、歴史、文化等の財産をもとに、子どもたちが倉吉を「知る・楽しむ・育む」ことのできる取組を推進します。  
 ・**「小中学生リーダー会」の開催**、**土曜授業**、**くらし風土記の活用**

#### 家庭・地域と連携した開かれた学校づくりの推進

保護者や地域に積極的に情報を公開するとともに、各学校が創意工夫のもと地域の課題に応じた特色ある教育活動を展開し、活力ある学校づくりができるよう地域の人が学校運営に参画する体制づくりを推進します。  
 ・**地域学校委員会の活用**、**OC地区「教育を考える会」の開催**

#### 機能的な学校運営体制と特色ある学校づくりの推進

学校長の明確なビジョンとリーダーシップのもと、組織的・機能的な学校経営を実現するため、学校体制の確立、人材育成、地域人材及び地域教材活用のための地域と学校とのコーディネートの実現を図ります。  
 ・**地域学校委員会との連携**、**POCA サイクルによる学校情報の発信**

#### 教育助成の充実

学校や地域がより一層輝きを放つためには、教育研究を推進すると共に、研究団体等や就学援助事業等に関する奨励を行います。  
 ・**小中学校教育研究会奨励** ・**各種研究奨励**  
 ・**スクールバス運行**



### 学校

### 家庭

### 連携

### 地域

#### 地域の次世代育成

地域づくりのために、各地区公民館を拠点として、学校や関係諸団体と連携し、地域の若さを育成するためのさまざまな仕掛けづくりに取り組みます。

#### ～住みたい地域～

#### 教育施設の整備充実

教育施設の環境改善の推進・教育発表の実施・奨学金制度の実施。

#### 学校の適正配置の推進

児童生徒数の減少を踏まえ、子どもたちが望ましい成長をするための学校適正配置について、「倉吉市立小学校適正配置推進計画」の遂行をするとともに、中学校の適正配置について検討していきます。

### 社会教育

#### 地域力を育む社会教育の推進

多種多様な市民の学習ニーズや社会状況の変化に対応し、市民がいつでも、どこでも、だれでも学べる、選択できる学習内容及び学習機会の充実を図り、「学び」の場から人づくり・まちづくりを推進し、地域力を育んでいきます。  
 ・**ふるさと再発見！生涯学習講座の充実**

#### 支え合う人づくり・輝くまちづくり

地域の一員としてともに支えあい、地域への愛着と誇りを持つため、伝統行事や地域活動への積極的な参加、ボランティア活動など、大人と子どもが一緒に活動できる機会の充実及び若者の自主的な活動支援、青少年の体験活動や健全育成を推進します。  
 ・**「くらし大学」による青年ネットワーク**、**青少年の地域活動の推進**

#### 公民館活動の推進

地区の特徴を活かした事業を展開し、住民のニーズや地域課題の解決に向けた学習活動の充実、住民が学びを通じて、交流を図り、学びを地域活動に活かせる仕組みづくり及び地域団体の自主的な活動の支援に取り組めます。  
 ・**地域の拠点づくり**、**地域課題の解決を推進する研究協定事業**

#### 体育・スポーツの振興

市民が生涯を通じて健康で豊かな日常生活を送るため、スポーツ活動機会の充実・スポーツ団体の育成・指導者の養成に努め、体育施設等の整備を図り、生涯スポーツを推進します。  
 ・**日本海防健康大会**、**くらし女子学生健康大会の開催**

#### 文化財の保存、活用、伝承

地区の歴史や文化としての文化財を次の世代に確実に引き継ぐため、伝統文化の継承者を育成するとともに、所有者や地域と連携しながら文化財の適切な保護と活用を図ります。  
 ・**倉吉市町吹玉川伝統的建造物群の発信**、**伯耆国新宮遺跡発掘調査と活用**

#### 親しみ学ぶ機会を提供できる博物館

博物館が収集した資料を公開し、館内外で地域と連携した博物館講座を開催し、学ぶ場をつくれます。鑑賞・体験学習施設として環境整備を進めます。  
 ・**前田政次大賞**、**菅原宗大賞**、**縁の結実賞**、**くらし芸術大賞**の授賞

#### 豊かな心を育む図書館づくりの推進・交流の場の提供

暮らしに役立つ図書館活動を推進し、資料や情報の収集・提供に努め、地域課題、利用者ニーズに合ったサービスの提供を行います。  
 ・**絵本作家による講演会の開催**、**山土地理学会大会**、**パークスクエアの充実**

#### 社会教育で培った力

- 学校支援
  - ・学習支援活動
  - ・環境整備
  - ・登下校安全確保
  - ・合同行事の開催
- 地域づくり
  - ・若いリーダー育成
  - ・地域行事への企画・参画
  - ・文化財の活用

# 家庭・地域・学校が一体となった教育の推進

行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域

倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

「倉吉を知る・倉吉を楽しむ・倉吉を育む」活動を通して、  
「倉吉のよさを感じ、地域で活動できる子ども」を育てる。

## 家庭の役割

子どもが生きていく上で必要な基本的な生活習慣や規範意識を身につけさせると同時に、心と体を休める場となる。

家庭

学校

PTA活動  
授業参観  
保護者会  
各種行事等

## 学校の役割

バランスよく知・徳・体の力を身につけさせると同時に、集団の中で人間関係の基本を身につけさせる。

子ども

家庭教育協力推進企業  
地域の行事  
子ども会活動  
青少年育成協議会  
スポーツ少年団 等

土曜授業  
職場体験  
教育を考える会  
地域パトロール  
ゲストティーチャー  
青少年育成協議会 等

地域

## 地域の役割

子どもが活動できる安心・安全な場を提供し、地域全体で家庭での教育を支え、学校と協力して子どもを見守り、地域を担う次世代を育てる。

## 地域学校委員会

- ① 学校地域連携推進  
(学校教育を支援)  
地域の学校サポート体制づくり  
・学習支援活動  
・環境整備  
・登下校安全確保  
・合同行事
  - ② 地区「教育を考える会」の開催
  - ③ 地域の次世代育成  
(地域から学校へ要望)
- 地域の教育力の活性化

## 倉吉市

自治公民館協議会 住民自治活動  
地区振興協議会 地域づくりの推進

## 地区公民館

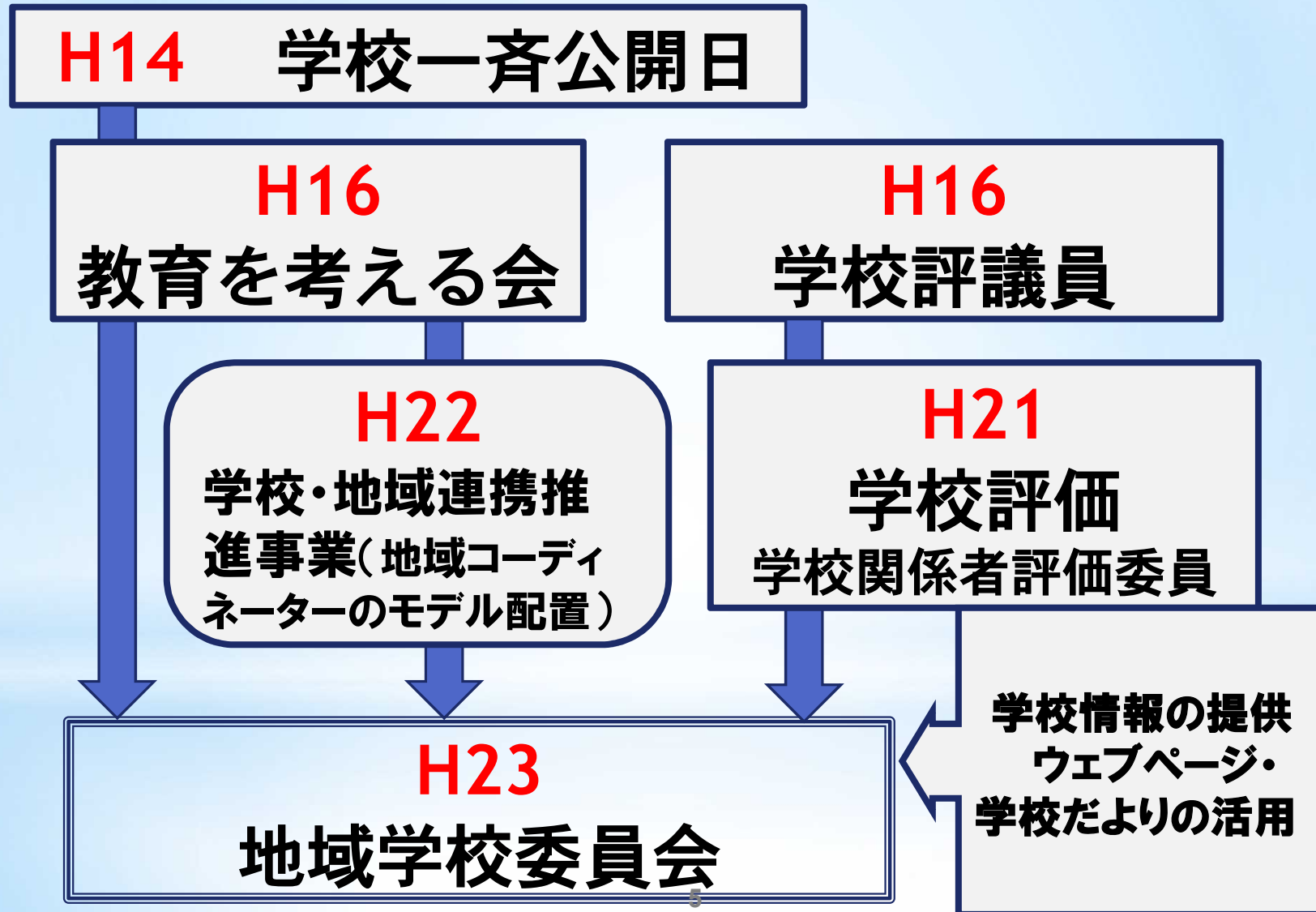
地域活動の拠点 生涯学習の拠点

## 倉吉市教育委員会

(公民館管理委員会)  
社会教育の推進

自治公民館協議会、地区公民館、地区振興協議会、青少年育成協議会、老人会、女性連絡会、小中学校PTA、社会福祉協議会、児童・民生委員、農業団体、商工会など学校地域連携推進事業に協力

# 地域と共につくる開かれた学校教育の推進



## \* 倉吉市教育委員会の取組 1

### 平成14年度 全市一斉学校公開日

- ・開かれた学校づくりの推進  
子どもたちの学校生活の状況を公開
- ・地域との連携を図る  
公民館・民生委員・青少年育成協議会等と  
学校の課題を共有し、力を借りる
- ・平成14年  
3日間で1,498人      ⇒      平成27年  
2日で約2,000人

## \* 倉吉市教育委員会の取組2

### 平成16年度 教育を考える会

- 目的

教育の方向について保護者や地域に説明  
学校、家庭、地域社会の現状を説明  
課題を明確にし、その解決の方策を協議  
それぞれの教育機能の高まりと連携を推進

- 12校区 参加者合計：1,094人

- 主催 市教委 ➡ 実行委員会

## \* 倉吉市教育委員会の取組3

### 平成16年度 学校評議員

#### 趣旨

- ・学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、特色ある教育活動を展開する
- ・校長の行う学校経営に関し、助言を求める  
校長の求めに応じて意見を述べる

#### 委員

地区振興協議会、青少年育成団体、PTA  
地区公民館、老人クラブ、児童・民生委員等



## \* 倉吉市教育委員会の取組4

### 平成21年度 学校評価の実施

- 校長は自ら評価を行い、その結果を公表する
- 保護者その他の学校関係者による評価を行いその結果を公表する
- 校長は、自己評価と学校関係者評価の結果を教育委員会に報告する

学校組織マネジメントの推進

# \* 倉吉市教育委員会の取組5

## 平成22年度 学校・地域連携推進事業

- ・コーディネーターを配置し、連携の企画、地域資源(人材)の発掘、連絡、調整等を行う
- ・学校支援ボランティア、学校安全ボランティア等との連絡、調整等を担当
- ・児童の活動・学習の支援
- ・小学校6校にモデル配置

## \* 倉吉市教育委員会の取組6

### 平成21年度 学校情報の提供

- ・学校関係者評価を適切に実施するためには  
学校の情報を提供することが不可欠
  - ・学校だよりの発行 地域にも回覧
  - ・学校のウェブページの更新
- ・教頭研修会の開催 H22.2月 ・ H22.5月  
「ホームページを通して学校運営を見る」

## \* 地域学校委員会導入のきっかけ

平成22年「倉吉市教育振興基本計画」策定作業

「地域学校委員会」 ～学校地域連携の推進～

- ・学校・家庭・地域の連携協力（教育基本法改正）
- ・「教育を考える会」と学校評議員制度の発展
- ・学校支援地域体制の立ち上げ
- ・地域の次世代育成 ⇒ 地域の活性化  
地域のさまざまな組織と連携し、後継者育成

# 地域学校委員会設立をめぐるって

## 学校

- ・ 学校評議員制度で十分
- ・ 多忙化する
- ・ CSへの抵抗感

## 地域（公民館）

- ・ 学校のことは学校にお任せ
- ・ 責任は取れない
- ・ 学校は非協力的



## 具体的な行動を共にする

菜の花PJ      公民館長に協力を依頼

倉吉市〇〇小(中)地域学校委員会と学校評議員制度と学校運営協議会

項目	倉吉市 地域学校委員会	学校評議員	学校運営協議会
目的	学校運営に関して、校長と地域住民が審議をすることで、学校支援と地域の教育力の活性化に資する。	校長の求めに応じ、学校評議員が意見を述べることで、地域の意見を反映させる。	校長及び教育委員会が行う学校運営や教職員人事に一定の権限をもって関与する合議制の機関。
法規等	教育基本法 第13条 倉吉市教育委員会規則第20条の9 倉吉市地域学校委員会運営規程	学校教育法施行規則 第49条 倉吉市教育委員会規則第20条の9 倉吉市学校評議員運営規程	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5
委員	有識者、関係機関・青少年団体等の代表者、保護者など、地域の教育を考える会実行委員に校長が加わる。(旧学校評議員) ・任期は1年間(再任可) ・年間5回程度の会合	学校区内外の有識者、関係機関・青少年団体等の代表者、保護者など、できる限り幅広い分野から委嘱することが望ましい。 ・年間2～3回の会合	校長、学識経験者(3名以内)、校長推薦の委員(4名以内)及び公募委員(4名以内)により構成され、委員の任期は2年間。 ・月1～2回程度の会合
任命	倉吉市教育委員会が、校長の推薦する者を委嘱する。	校長の推薦により、設置者が委嘱する。	設置者が定める規則に基づいて設置者が任命する。
内容	【校長】 ・経営方針、教育課程、予算、学校評価等について説明し、理解を得る。 ・説明した基本方針等に基づき学校運営を行う。 【地域学校委員会】 ・学校の支援体制の整備を行う。 ・地域の次世代育成のための要望をする。 ・学校関係者評価を行う。 ・「教育を考える会」を開催する。	校長の求めに応じて、教育活動の実施、学校と地域社会の連携の進め方など、校長の行う学校運営に関して、意見を述べ、助言を行う。 ・校長の求めに応じ、個人として意見を述べる。	・校長及び教育委員会が行う学校運営や教職員人事について関与する。 ・校長が作成する学校運営の基本的な方針(教育課程の編成など)について承認する。 ・地域と連携した教育活動に向けた取組みを行う。

## \* 地域学校委員会導入の流れ

平成23年

- ・倉吉市地域学校委員会運営規程を定める。
- ・地域学校委員会
  - 小中学校19校で約150人の委員を委嘱
- ・「地域で育む学校支援ボランティア事業」(県)
  - (1) ボランティアによる学校支援
  - (2) コーディネーターの配置
- ・地域学校推進協議会(年2回開催)

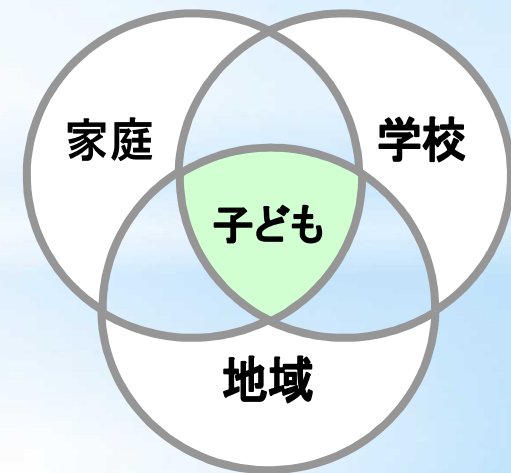
平成24年～27年

地域学校委員会 学校支援・教育を考える会

平成28年 学校運営協議会に指定

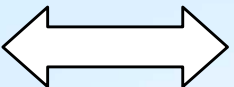
## \* 地域学校委員会のねらい

地域の住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と地域住民等との信頼関係を深め、地域及び学校がその教育力を相互に高め、共に児童生徒の豊かな学びと育ちの創造を目指すものとする。





倉吉市教育委員会



倉吉市地域学校推進協議会

**小学校**

信頼される学校

学校評価

子どもと向き合う時間の確保

地域の次世代育成事業に協力

情報公開・学校評価公表

**地域学校委員会 = 地区「教育を考える会」実行委員会**

連絡調整

【地域学校地域連携推進事業】

- 【学習支援活動】
  - ・地区学習会の指導者
  - ・特別非常勤講師
  - ・体験的学習の指導者等
- 【環境整備】
  - ・剪定草刈、施設整備等
- 【登下校安全確保】
  - ・学校安全ボランティア等
- 【合同行事の開催】
  - ・合同開催行事の指導者等

地域学校委員

青少年育成協議会

〇〇小学校 PTA

地区振興協議会

地区公民館

老人クラブ

児童・民生委員

学校地域連携推進

家庭教育協力企業の協力

- ・会議の開催準備
- ・テーマの設定
- ・具体的取組の提案
- ・取組の反省

学校への支援・要望

**〇〇地区教育を考える会**

学校地域連携推進 地域の学校サポート体制づくり

地域の次世代育成 地域の教育力の活性化

# \* 地域学校委員会

会長

(会務の総理)

副会長

(会長の補佐・代理)

事務局長

(事業の遂行及び会計)

- ① 地域学校委員会の委員は、校長が地域と協議した上で推薦し、教育委員会が委嘱する。
  - 自治公民館・地区公民館・関係機関・青少年団体等の代表者や関係者、保護者、民生児童委員、地域コーディネーター、保護司、社会教育委員、学識経験者など。
  - 任期は1年間。再任可。
  - 人数は、校長と協議し市教委が定める。
- ② 委員は守秘義務を有し、その地位を利用しての営利行為、政治・宗教活動等を禁止する。
- ③ 委員の報酬及び費用弁償については、支給しない。

# \* 地域学校委員会の実際 1

## 校長の役割

○校長は、学校教育計画等を地域学校委員会に説明し、理解を得、それに基づき学校運営を行う。

1. 教育目標及び経営方針
2. 教育課程の編成に関する基本方針
3. 予算の編成に関する基本方針
4. 学校評価の計画

説明

意見  
要望

## 地域学校委員会の役割

○地域学校委員会は、校長の説明する事項について、意見を述べることができる。

○地域の次世代育成や教育力の活性化など地域づくりのための要望を行う。

# \* 地域学校委員会の実際 2

## 校長の役割

### ○ 学校支援の依頼

#### 内容の提示 (例)

- ・本の読み聞かせや整理、  
稲やさつまいもの栽培
- ・草刈り、剪定、ガラスふき、  
ついたてや看板づくり
- ・登下校の見守り
- ・遠足、菜の花種子散布

説明

参画  
支援

## 地域学校委員会の役割

### ○ 学校の支援体制の整備・募集・集約・活動

1. 学習・生活支援活動
2. 環境整備
3. 登下校安全確保
4. 合同行事の開催



# \* 地域学校委員会の実際 3

## 校長の役割

- 学校公開
- 学校アンケート
- 学校評価の提出・公表

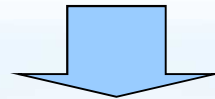
## 地域学校委員会の役割

- 学校関係者評価を行う。
- 学校の自己評価に対して、評価を行う。

← 評価



学校運営の改善



教育の質の向上



# \* 地域学校委員会の実際 4

## 校長の役割

- 「教育を考える会」への資料提供等

(例)

- 子どもの姿
- 学校の取り組み



## 地域学校委員会の役割

- 「教育を考える会」の開催
- 地域で子どもを育てるための活動・連携推進
- 実行委員会の運営、参加呼びかけ、まとめ等

## 学校・家庭・地域の連携

情報の共有    めざす子ども像    取組の方向性

「教育を考える会」は、地域の実態に応じて開催  
(すでにある組織を活用して開催することもできる)

## 地域学校委員会 年間の取り組み例

学 校	地域学校委員会・コーディネーター	地 域
<p>4～5月 学校教育計画の策定・公表</p> <p>協力依頼事項の整理・提示</p> <p>6月 第一回学校公開</p>	<p>第1回委員会 ・委員の任命、会長他役員の設定等 ・校長の学校教育計画説明、意見</p> <p>・学校支援活動等の協力依頼</p> <p>地域コーディネーター ボランティアの募集 ボランティアの集約・保険手続き</p>	<p>第1回 倉吉市地域学校推進協議会 地域学校委員研修</p> <p>学校支援ボランティア 協力申し込み</p> <p>地域コーディネーター 地域へ依頼</p>
<p>7～8月 一学期のまとめ</p> <p>10月</p> <p>11月 第二回学校公開 保護者アンケート実施</p> <p>12月 二学期のまとめ</p>	<p>第2回委員会 ・一学期のまとめ</p> <p>第3回委員会 〇〇地区「教育を考える会」 ・実行委員会の招集、計画立案</p> <p>〇〇地区「教育を考える会」開催</p> <p>第4回委員会 ・二学期のまとめ 「教育を考える会」反省</p>	<p>地域課題の取り組み ・学校と合同で</p> <p>・地域独自で</p> <p>事業協力 参加者の確保</p> <p>地区公民館 運動会でのボランティア 文化祭への出品</p>
<p>学校自己評価</p> <p>3月 学校評価の提出・公表</p>	<p>第5回委員会 ・一年間の成果と課題 次年度役員の推薦</p>	<p>第2回 倉吉市地域学校推進協議会 各校取り組み事例発表等</p>

# \* 倉吉市地域学校推進協議会

## \* 倉吉市全体の推進を図るため

\* 各地域学校委員会代表(会長)が参加

\* 各地域学校委員会の活動状況の情報交換

\* 各地区「教育を考える会」の  
開催状況の情報交換 など

・6月 新委員にガイダンス

・2月 実践発表・協議

CSマイスターの講演等





# \* 倉吉市教育委員会の役割

\* 委員の委嘱

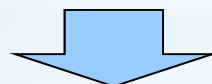
\* 委員の研修

推進協議会の開催・広報

\* 地域学校委員会経費

(H27) 3,405千円

倉吉市地域学校委員会の取り組み



地域の次世代育成 学校支援と地域づくり



## \* 地域学校委員の声

\* 地域学校委員の研修に満足 49人/49人(100%)

### \* 課題

- ・委員やボランティアの確保
- ・活動費や報酬などの財政に懸念
- ・教職員の負担の増加

### \* 感想

- ・学校と地域・保護者の協働作業に取り組みたい。
- ・地域の良さを三者がもっと協力して子どもに伝えたい。
- ・「責任を持って意見を述べ、責任を持って支える」
- ・今後の活動のヒントがもらえた。話し合いができて良かった。
- ・保護者代表として1年。学校任せではなく、行動したい。

# \* 学校支援活動例 小鴨小・西中

(1) 小鴨地区「教育を考える会」  
～地域学校委員会での企画・立案・実施、PTAとの連携

(2) セカンドスクール、ふるさと探訪  
～小鴨地区青少年育成協議会との連携～

(3) 一人暮らしの高齢者への配食ボランティア活動  
～小鴨地区民生児童委員会との連携～

(4) その他の連携事業  
小鴨地区文化祭・笑顔のまつり  
小鴨芸能のつどい・運動会

(5) かぐや姫プロジェクト 100人参加

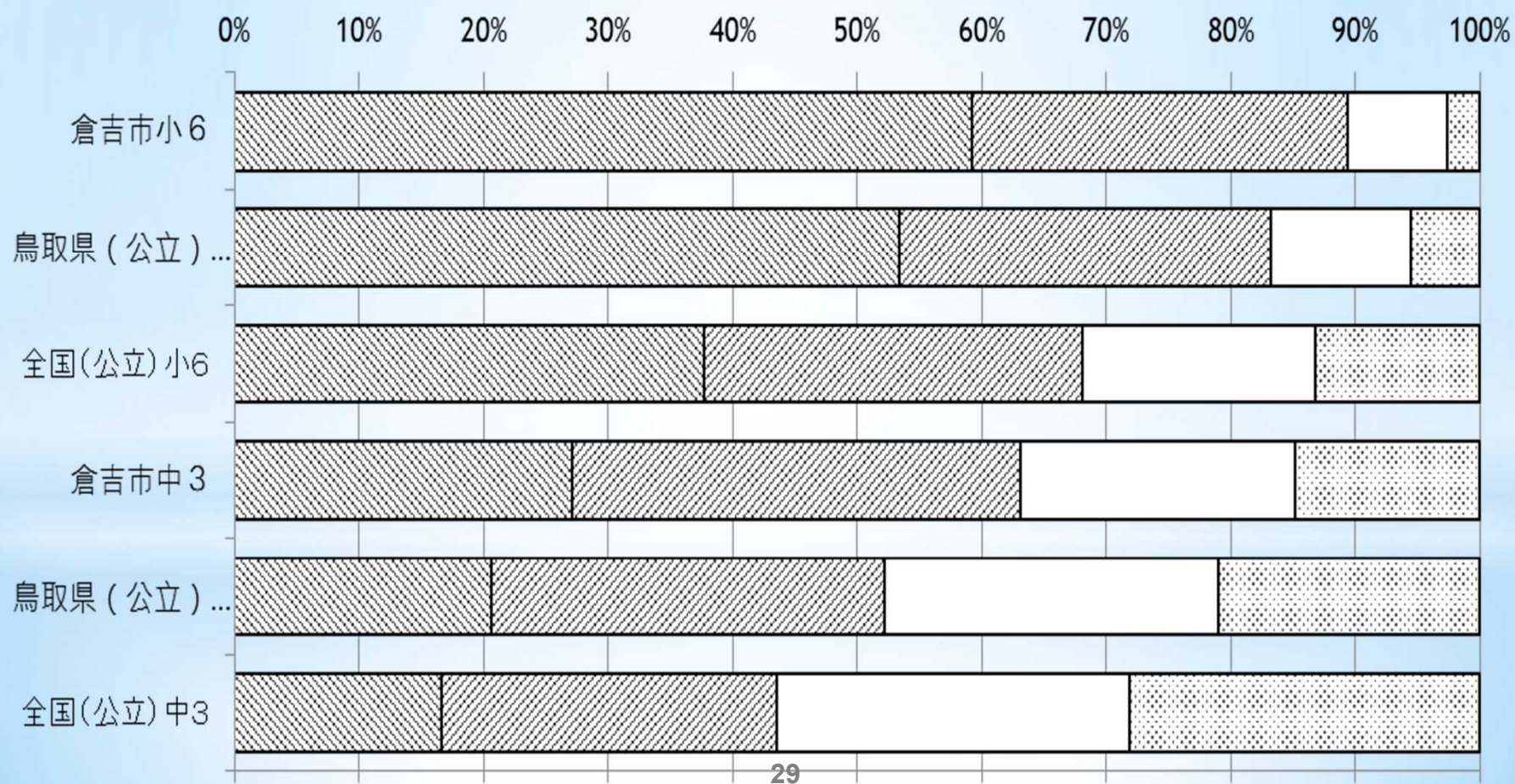


## 学校支援ボランティアへの地域住民の参加率

年 度	実施結果 (H23)	実施結果 (H24)	実施結果 (H25)	実施結果 (H26)	実施結果 (H27)
小学校	899 人	1303 人	1239 人	1294 人	1034 人
中学校	182 人	332 人	519 人	521 人	625 人
合 計	1081 人	1635 人	1758 人	1815 人	1659 人
延べ活動 人数	22619 人	23720 人	22791 人	24772 人	28570 人

平成26年度全国学力・学習状況調査(質問紙)より  
 「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」

- 当てはまる
- ▨どちらかという当てはまる
- どちらかという当てはまらない
- 当てはまらない



## 成果

- 子どもを地域で育てようという意識の高まり
- 学校と地域の垣根が低くなった
- 学校の立場を理解・説明できる人の増加
- 児童生徒の地域行事への参加が増えた
- 地区公民館との連携・協力が進んだ

## 課題

- 地域学校委員会の活動の情報提供
- 学校が地域に何ができるのか
- 事務局の負担の軽減
- 法改正に伴い教育委員会規則の改正を予定